

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3198 URL <https://www.sfpdining.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 誠
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 人事・総務本部長（氏名） 中居 康幸 (TEL) 044(750)7154
 半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年11月8日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	15,037	5.3	907	△10.1	1,023	△7.7	705	8.2
2024年2月期中間期	14,286	41.0	1,009	—	1,109	△10.2	652	△18.6

（注）包括利益 2025年2月期中間期 715百万円（11.9%） 2024年2月期中間期 639百万円（△22.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	30.97	—
2024年2月期中間期	25.30	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	13,625	8,210	60.3
2024年2月期	13,303	7,744	58.2

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 8,210百万円 2024年2月期 7,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2025年2月期	—	13.00			
2025年2月期（予想）			—	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,000	3.2	2,100	3.6	2,300	2.8	1,500	△13.4
								65.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	22,813,689株	2024年2月期	22,813,689株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	13,285株	2024年2月期	25,385株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	22,793,170株	2024年2月期中間期	25,788,336株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や企業収益の改善などによりゆるやかな回復基調で推移しました。一方で、長引く物価高の影響から消費者の節約志向は高まりつつあり、個人消費はやや低調に推移しており、また緊迫したロシア・ウクライナ情勢や中東情勢、金融資本市場の変動リスクなどにより、景気は依然として先行き不透明な状況です。

外食産業におきましては、物価高騰が実質消費を抑制しているものの、インバウンド需要が引き続き好調であり、売上はコロナ前を上回り堅調に推移しております。当社が主に展開する居酒屋業態では、インバウンド客の増加や人流回復傾向の継続等により昨年比では売上を伸ばしているものの、いまだコロナ前の売上には及んでいない状況です。

このような状況の中で当社グループは、引き続き固定費の増加抑制に努めるとともに、食材価格の高騰を踏まえたメニュー改定や臨機応変な営業時間の見直し、人財採用の積極化など、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。また、出店戦略においては、小型かつ低投資の大衆酒場業態の開発・出店を継続するとともに、地方都市での出店にも注力しております。

鳥良事業部門においては、当中間連結会計期間末現在の店舗数は35店舗となり、当中間連結会計期間の売上高は2,620百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を1店舗出店したほか、「磯丸水産」及び「磯丸水産食堂」をフランチャイズで各1店舗出店いたしました。一方で「磯丸水産」を1店舗退店し、当中間連結会計期間末現在の店舗数は直営99店舗、フランチャイズ18店舗となり、当中間連結会計期間の売上高は9,121百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

その他部門においては、「五の五」を1店舗出店したほか、「ホームベース」1店舗を「鉄板ホルモン五の五」へ業態転換し、当中間連結会計期間末現在の店舗数は31店舗となり、当中間連結会計期間の売上高は2,278百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

フードアライアンスメンバー(連結子会社)においては、株式会社クルークダイニングが「梅と鶯」を1店舗退店し、当中間連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが12店舗、株式会社クルークダイニングが12店舗となり、当中間連結会計期間の売上高は1,016百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末の総店舗数は、直営189店舗、フランチャイズ18店舗となり、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は15,037百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は907百万円(前年同期比10.1%減)、経常利益は1,023百万円(前年同期比7.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は705百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、13,625百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ442百万円増加し、6,349百万円となりました。これは主に、現金及び預金が367百万円、売掛金が142百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ120百万円減少し、7,276百万円となりました。これは主に、有形固定資産が97百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ177百万円減少し、4,230百万円となりました。これは主に、買掛金が78百万円、その他流動負債が100百万円増加した一方、短期借入金が200百万円、未払法人税等が177百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加し、1,184百万円となりました。これは主に、長期借入金が24百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ466百万円増加し、8,210百万円となりました。これは主に、利益剰余金が432百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月12日に発表いたしました「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,518,538	4,885,666
売掛金	767,528	909,896
原材料及び貯蔵品	116,601	131,675
その他	504,055	421,904
流動資産合計	5,906,724	6,349,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,661,947	7,717,957
減価償却累計額	△4,535,119	△4,644,641
建物及び構築物(純額)	3,126,828	3,073,316
土地	11,570	11,570
建設仮勘定	2,986	4,284
その他	1,834,237	1,831,412
減価償却累計額	△1,453,670	△1,496,622
その他(純額)	380,567	334,789
有形固定資産合計	3,521,952	3,423,960
無形固定資産		
のれん	270,838	260,801
その他	10,079	9,963
無形固定資産合計	280,917	270,764
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,801,542	2,847,164
その他	792,341	734,722
投資その他の資産合計	3,593,883	3,581,887
固定資産合計	7,396,753	7,276,612
資産合計	13,303,477	13,625,755

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	766,665	844,887
短期借入金	905,000	705,000
1年内返済予定の長期借入金	128,640	113,368
未払法人税等	462,684	285,447
賞与引当金	176,294	237,899
株主優待引当金	115,563	119,756
店舗閉鎖損失引当金	19,218	4,172
資産除去債務	18,903	4,606
その他	1,814,943	1,915,633
流動負債合計	4,407,913	4,230,771
固定負債		
長期借入金	22,540	46,658
退職給付に係る負債	364,318	369,724
資産除去債務	682,971	683,451
その他	81,341	84,483
固定負債合計	1,151,172	1,184,317
負債合計	5,559,085	5,415,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,340	49,340
資本剰余金	505,659	505,639
利益剰余金	7,259,351	7,691,796
自己株式	△50,177	△26,219
株主資本合計	7,764,173	8,220,557
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△19,781	△9,890
その他の包括利益累計額合計	△19,781	△9,890
純資産合計	7,744,392	8,210,666
負債純資産合計	13,303,477	13,625,755

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	14,286,727	15,037,220
売上原価	4,152,150	4,394,207
売上総利益	10,134,576	10,643,012
販売費及び一般管理費	9,125,033	9,735,931
営業利益	1,009,543	907,081
営業外収益		
受取賃貸料	—	2,100
協賛金収入	115,771	107,356
助成金収入	※ 315	—
持分法による投資利益	1,419	2,225
その他	7,447	10,637
営業外収益合計	124,953	122,319
営業外費用		
支払利息	933	2,696
支払手数料	20,597	—
不動産賃貸原価	—	1,530
その他	3,345	1,283
営業外費用合計	24,877	5,509
経常利益	1,109,619	1,023,891
特別利益		
固定資産売却益	—	3,636
店舗閉鎖損失引当金戻入額	12,909	6,799
特別利益合計	12,909	10,436
特別損失		
固定資産除却損	23,415	1,341
減損損失	170,960	3,012
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	4,172
特別損失合計	194,375	8,526
税金等調整前中間純利益	928,153	1,025,800
法人税、住民税及び事業税	262,874	271,242
法人税等調整額	12,719	48,543
法人税等合計	275,594	319,786
中間純利益	652,559	706,014
非支配株主に帰属する中間純利益	—	109
親会社株主に帰属する中間純利益	652,559	705,904

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	652,559	706,014
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△12,853	9,890
その他の包括利益合計	△12,853	9,890
中間包括利益	639,705	715,904
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	639,705	715,795
非支配株主に係る中間包括利益	—	109

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	928,153	1,025,800
減価償却費	291,871	293,007
減損損失	170,960	3,012
のれん償却額	32,824	10,036
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,805	61,605
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△8,855	4,192
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△23,767	△15,046
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15,708	20,393
支払利息	933	2,696
売上債権の増減額(△は増加)	△107,017	△142,367
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,615	△15,074
仕入債務の増減額(△は減少)	124,727	78,222
その他	△348,318	118,748
小計	1,091,224	1,445,229
利息及び配当金の受取額	24	80
利息の支払額	△936	△3,988
法人税等の支払額	△145,870	△447,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	944,442	994,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△282,840	△153,245
資産除去債務の履行による支出	△16,275	△3,897
定期預金の預入による支出	△6,000	—
貸付金の回収による収入	20,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△80,033	△49,728
敷金及び保証金の回収による収入	43,071	61,170
その他	△32,063	△17,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△354,140	△162,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△172,260	△41,154
自己株式の取得による支出	△158	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,000
配当金の支払額	△257,568	△272,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429,987	△464,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	160,314	367,127
現金及び現金同等物の期首残高	9,214,561	4,516,537
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,374,876	4,883,665

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※ 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等です。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。